

令和2年6月17日

市原市長	小出 譲治 殿
千葉県公安委員会委員長	岩沼 静枝 殿
千葉県知事	森田 健作 殿
厚生労働大臣	加藤 勝信 殿
国家公安委員会委員長	武田 良太 殿

特定非営利活動法人 シンクキッズー子ども虐待・
性犯罪をなくす会 代表理事 後藤 啓二(弁護士)
(野田市虐待再発防止委員会員)

市原市虐待死事件を機に要対協実務者会議の情報共有
と連携しての活動を求める緊急要望書

1 6月3日、千葉県市原市で10カ月の次女に食事を与えず放置し1月に死なせたとして母親が保護責任者遺棄容疑で逮捕されるという痛ましい虐待死事件が発生しました。

報道によると、昨年12月以降に2回、市原市の保健師らが自宅を訪問したが、次女を目視できなかった、保護者は次女に1か月健診を受けて以降必要な乳児健診や13回の予防接種を受けさせておらず、9ヶ月間も次女とは会えていなかった、にもかかわらず、市原市は「今後の母親との関係維持も優先した」、「安否確認できていない状況も要対協に報告していなかった」とされています。

子どもと面会できないということは、虐待の「危険な兆候」です。このような危険な兆候を把握した機関は、直ちに警察に通報することが必要です。警察は24時間365日直ちに対応することができ、かつ、児童相談所や市町村の職員には面会拒否する保護者のほとんどすべてが警察からの面会要請には応じることから、本事案でも、市原市が子どもと面会できない状況が続いた時点で、警察に通報し警察が家庭訪問していれば、子どもは衰弱していたのですから、直ちに子どもを保護し、その命を救うことができました。

2 昨年1月の野田市心愛さん虐待死事件でも、1月の3学期開始から心愛さんは長期欠席となりました。長期欠席というのは虐待の危険な兆候です。学校、あるいは児童相談所が、長期欠席を知ったときに直ちに警察に通報していれば、

警察が直ちに家庭訪問し、衰弱していた心愛さんを救うことができました。

また、平成 26 年に父親らが逮捕された東京都足立区玲空斗ちゃんウサギ用ケージ監禁虐待死事件では、東京都の児童相談所が 11 回家庭訪問して 2 回しか会えなかったにもかかわらず、安否確認を怠り、警察にも連絡せず放置し、玲空斗ちゃんの姿がずっと見えないと住民から通報がありあわてて警察に連絡し、警察により 1 年以上も前に玲空斗ちゃんが殺害されていたことが分かりました。東京都の児童相談所が、子どもの安否確認ができない時点で速やかに警察に通報していれば、警察が家庭訪問し、ウサギ用ケージに入れられていた玲空斗ちゃんを救うことができました。

本事件、野田市心愛さん虐待死事件、東京都足立区玲空斗ちゃん虐待死事件その他の多くの虐待死事件の教訓から、虐待案件を児童相談所や市町村で抱え込むことなく、要保護児童対策地域協議会（「要対協」という）の実務者会議等を通じ、多くの機関で共有した上、子どもの安否が確認できないなどの「危険な兆候」が認められる場合には、直ちに警察等関係機関に連絡・共有し、連絡を受けた警察が直ちに家庭訪問し、子どもがけが、衰弱等している場合には緊急に保護するという仕組みが必要であることは明らかです。

市原市では、要対協実務者会議に警察は参加し本案件も登録されていましたが、その後の「危険な兆候」の共有、警察への連絡等の仕組みが整備されていませんでした。千葉県、市原市では下記 3 記載のとおりこれまでも多くの虐待死事件が繰り返されています。このままではいつまでも同様の事件が続きます。再発防止を図るためには、直ちに上記の不備を改めなければなりません。高知県では 10 年以上も前から、児童相談所の職員が保護者から面会拒否された場合には警察に連絡し、警察官とともに家庭訪問し子どもの安否を確認しています。市原市、千葉県などはこのような他県の先進的な取組に学ばなければなりません。

また、市原市は千葉県から「児童福祉の観点から一切の情報を公開しないよう助言」を受け、本事件についても当初公表しないという対応をしていました。このような対応は、他機関やマスコミ、国民の目から、行政の児童虐待への対応・不備を隠すものであり、行政の透明性・説明責任、児童虐待事件の再発防止等あらゆる観点から到底許されるものではありません。

そこで、市原市及び千葉県警察、千葉県、厚生労働省、国家公安委員会に対して、次のとおり要望いたします。

(1) 市原市におかれては、要対協の実務者会議において、会議の構成員の間で、市、児童相談所、警察等が把握した虐待案件をすべて共有し、構成員が日常活動等を通じ被害児童が虐待を受け、あるいは虐待が疑われる危険な兆候がないか被害児童を見守り、それが認められた場合には直ちに警察等の構成員に連絡・共有するルールとするとともに、連絡を受けた警察が直ちに家庭訪

問し、子どもの安否を確認し、けがをしている、衰弱している等の場合には子どもを緊急に保護する態勢を整備することを強く要望いたします。また、今後、児童虐待への市原市の対応については公表することも併せて要望いたします。

(2) 千葉県警察におかれては、管内の全ての市町村に対して、本事件及び野田市

心愛さん事件等の上記教訓を説明し、要対協の実務者会議に警察を構成員とした上、上記(1)のルール・態勢を整備するよう働きかけ、できるだけ早期の実現を図ることを強く要望いたします。

(3) 千葉県におかれては、「虐待案件については児童相談所、市町村が関与したかどうかも含めて一切公表しない」という方針を直ちに撤回することを要望いたします。このような方針は、他機関を排除し内輪だけで対応したいという千葉県の児童相談所の閉鎖的体質が「一切公表しない」という異常なまでの方針にまで膨らんだものといえ、このままでは児童相談所が案件を抱え込んだまま、警察等と情報共有も連携もせずみすみす虐待死に至らしめる事件の再発防止になりません。他府県に倣い、児童相談所、市町村、警察が全ての虐待案件を共有し、連携して活動するというベストの態勢を整備することを強く要望いたします。

(4) 厚生労働省、国家公安委員会におかれては、上記(1)のルール・態勢を整備するよう全国の市町村、警察を指導することを強く要望いたします。また、厚生労働省は千葉県に対して児童虐待の対応を公表しないという方針を撤回するよう指導することも併せて要望いたします。

3 千葉県内では本事件、野田市心愛さん虐待死事件以外にも児童相談所、市町村が関与しながら虐待死を防ぐことが出来なかった事件が続いています。

(1)平成26年11月、市原市で23歳の父親が当時8カ月の男児を脳損傷により死亡させた事件が発生しました。同年5月当時2カ月の男児が腕を骨折し、児童相談所は病院から虐待の通告を受け一時保護したものの、父親が否認していることをもって虐待とは言い切れないとして警察に連絡しませんでした。その上、児童相談所は父親の妻へのDVや長女への虐待の事実を知らず、同年10月警察に連絡することなく一時保護を解除し男児を家庭に戻し、1カ月後に父親に虐待死させられてしまいました。

児童相談所が病院から骨折につき通告を受けた時点で警察に通報していれば、警察が関係者から事情を聞くなどし父親の虐待によるものと判明したでしょうから、男児が虐待死させられることはありませんでした。また、せめて一時保護を解除しようとするとき、あるいは遅くとも解除後、警察に連絡し連携して家庭訪問等していれば男児の命は救うことができた可能性はかなりありました。児童相談所は案件を抱え込み救えたはずの男児の命を守るこ

とが出来ませんでした。

(2)平成23年5月、柏市で当時2歳の男児が両親から食事を与えられず餓死させられた事件が発生しました。柏市は妊娠中から重篤なネグレクトの疑いありとして、市職員が家庭訪問しましたが父親が威嚇的な言動で子どもとの面会を拒否したことから、児童相談所に送致し、介入措置を求めました。しかし、児童相談所は、1回の家庭訪問で安全と判断。一時保護せず、その後全く家庭訪問せず、本案件を市に送致・移管した。その後も、市職員は家庭訪問するも子どもに面会できないまま、餓死させられました。男児の体内からは、飲み込んだ紙切れやプラスチック片が見つっています。

(3)平成19年1月、松戸市で2歳女児が母親の内縁の夫に虐待死させられる事件が発生しました。児童相談所は3回家庭訪問し、女児の顔に傷があったにもかかわらず母親から「階段から落ちた」と言われそれを真に受け、何の対応もせず、その5日後に虐待死させられています。

(4)平成18年12月、市原市で1歳児の虐待事案について児童相談所は把握し、傷が2回も生じているのを知っていたにもかかわらず、警察等関係機関と情報共有せず、一時保護もせず虐待死に至らしています。

千葉県は、全国的にみれば、児童相談所、市町村が関与しながら、警察と情報共有も連携もせず虐待死を防げない事件が繰り返し引き起こされている自治体です。全国の他の多くの自治体では、既に児童相談所と市町村、警察等との全件共有と連携しての活動に取り組まれています。千葉県の児童相談所、あるいはいくつかの市町村ではいまだ実現していません。

関係各位におかれましては、上記要望につきご理解いただき、直ちに関係機関が連携してベストの取組で子どもを守ることができる態勢を整備していただきたくお願い申し上げます。

(本件連絡先) NPO 法人シンクキッズー子ども虐待・性犯罪をなくす会
代表理事 後藤啓二(弁護士)103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-9-2-314
090-2563-5206 fax 03-6317-5298 kgoto@ab.auone-net.jp
<http://www.thinkkids.jp/> <https://facebook.com/thinkkidsjp/>